

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 42 号

平成 20 年 2 月 20 日

発行元
岡山県立
高松農業高校
tel 086-287-3711
fax 086-287-3713

【朝礼台】 食の安全とは 渡邊領治

今世間では毒入り餃子騒動で毎日マスコミをにぎわしています。その背景にある日本の食料に対する色々な課題が見えてきています。

今の日本の食生活は、輸入なくしては成り立たなくなっています。安ければよいと言つ消費者ニーズもありませんが、生産者と消費者の距離が遠のき、作り手の顔が見えなくなり、食の安全が確保できなくなっています。また、原油高の折から、食料の輸送距離に重量をかけた「フードマイレージ」(この値が大きいほど地球環境への負荷が大きいという考え)が世界で断然一位と、環境に対して大きな負荷を与えていると言われています。一方では宴会料理の十五%を食べ残したり、賞味期限切れと言つことで毎日多量に廃棄している現実もあります。

国民の大半が、農産物はスーパーやデパートで簡単に買えるものと当たり前に信じ込んでいます。が、輸入が止まるとたちまち飢えをもたらしします。その時になつて「自国の食料は自給で」と言つても遅いのです。耕作放棄された農地はなかなか元には戻りません。中国製ギョーザシヨックは「輸入依存の食生活を見直せ」と、警鐘を鳴らしています。



このシンビジウムは、昭和五四年園芸科卒業の大内巖氏寄贈のもので、大内氏は岡山市御津吉尾において、シンビジウムを中心とした洋蘭の育種や栽培、そして販売を行う株式会社「スコレー」を設立しておられます。秋から春にかけて、温室内は色とりどりの洋蘭が咲き乱れています。一度足を運んで見てください。

シンビジウム - *Cymbidium* - ラン科の植物。日本に自生しているものではなく、主に東南アジアに自生しているものを品種改良した洋ラン。寒さにとても強く、しっかりと肥料をやれば、長く楽しむことの出来る花です。
『花言葉は「飾らない心、素朴」
一月二十二日の誕生花』

甘い香りいっぱい イチゴハウス

農業科学科野菜のハウスでは、農業科学科二年生のイチゴ栽培プロジェクトチームの五名が、丹誠込めて栽培しているイチゴが、真っ赤に熟れて甘い香りを放っている。真冬の厳寒期でもハウス内は温暖房機で十度に設定され、春を思わせる温かさで、交配用に放されているミツバチが忙しく飛び回っている。



北海道で夢の実現

「今、北海道の牧場で働けるのが夢のよう。充実した毎日である。」と語る門野さんは平成十六年度本校畜産科学科の卒業生である。門野奈緒美さんは、岡山市の非農家出身。動物好きが高じて本校畜産科学科に進学し、そこで見た牛のお産がきっかけとなり、毎日、牛の管理に明け暮れる高校生活を送る。その後、酪農について学ぶため北海道江別市にある酪農学園大学短期大学部酪農学科に進学した。

卒業後は、そのまま北海道に残り、鹿追町の高田牧場を経て、現在、千歳市の戸田牧場に勤務している。



レスリング個人戦で三名優勝

一月二六・二七日、山口県立田布施農業高校において第二二回中国高校選抜レスリング大会が開催され、本校から個人対抗戦に四名が出場した。結果は四名全員が決勝進出、そして55kg級の小野雷也(2E)、66kg級の谷坂亮輔(2F)、74kg級で末長翔(2E)の3名が優勝。84kg級の守安政晴(2E)も準優勝を果たし、全国高校選抜大会への出場権を全員が獲得した。



県高体連優秀選手に四名選出

全国大会などで活躍した選手に送られる、平成十九年度岡山県高体連レスリング競技優秀選手賞に

- 高橋啓 (3A) 西山裕佑 (3A)
- 原竜太 (3A) 横山幸和 (3A)

の四名が選ばれた。

